

平成18年度第3回岡山市総合政策審議会保健・福祉部会における主要な意見

- 1 日 時 平成19年2月14日(水) 13:30~14:53
- 2 場 所 岡山市職員研修所3階第3会議室
- 3 出席者 8人
- 4 傍聴者 3人
- 5 会議概要 障害福祉計画について
- 6 主要な意見

非常に短期間の中で国の示した目標値についての検討も十分なされていないのであろうが、目標値が高いような印象を受ける。中間の目標を定めてはどうか。

年度毎に目標値と実績について検証していく必要がある。

障害者の雇用・就労については、就職しても途中で離職する等色々と難しい問題がある。問題点を把握するために市でも就労者についての調査をしてはどうか。

自立支援法の理念 - 自己選択・決定 - が実現できるように行政としての指導やタイアップを考えていただきたい。

着実に前進している感があり、いい計画案ができていると思う。これを更に次のステップへつなげていただきたい。

今後この計画を障害者の視点・立場に立って、地域生活支援事業を見直したように改善して行って欲しい。

コマーシャル効果をPRして企業に障害者雇用促進を働きかけてはどうか。

成年後見制度の利用が増加しているが、費用面等での検討をお願いしたい。

出された意見については、来年度策定される「岡山市障害者プラン」に反映させることとし、障害福祉計画(最終案)については原案通り了承された。